

# 産業建設委員会

## 視察報告

当委員会が所管する事務の中で課題としてとらえている4項目

- ① 農業振興
  - ② 地域公共交通
  - ③ 民泊における諸課題
  - ④ 中心市街地の活性化
- について、平成30年8月1日から3日にかけて先進地をそれぞれ訪問し、行政視察を行いました。

**第3次鯖江市農業・林業・農村ビジョンについて**  
(福井県鯖江市)

農業振興に関する諸

施策、特に担い手の確保、新ブランド米の開発、6次産業化、獣害対策などの取り組みについて、第3次農業・林業・農村ビジョンにおける状況をお聞きしました。

また、高山市においては、本年11月26日、27日に「米・食味分析鑑定コンクール・国際大会 in 飛騨」が開催されることに関連して、

福井県が開発し全国的に注目されている「いちほまれ」についても経緯等についてお聞きしました。

### ◎考察

高山市とは農地の立地状況は異なりますが、農地集約化や、「さばえ菜花」を緑肥として使用したコシヒカリのブランド化推進などの取り組みは参考となりました。

**地域公共交通について**  
(京都府長岡京市)

高齢化が進む地域に、

通院や買い物移動手段としてニーズが高まる公共交通のあり方について意見交換しました。

### ◎考察

「クルマ社会からの転換」を掲げ、長岡京市地域公共交通ビジョンに基づいた施策の推進と事業評価による改善の手法は注目すべきと感じました。

日本一広い市域を擁する高山市において、利便性と収益性は相反する課題ですが、サービスの適正水準をどこに定めるか利用者を巻き込んだ納得の議論が不可欠です。

**民泊における諸課題について**  
(京都市)

高山市において増加している宿泊施設の中でも民泊について、住宅宿泊事業法や改正旅館業法の施行(平成30年6月15日)に伴い、

地域にとって適切なあり方を検討すべく、京

都市の先駆的取り組みについて学ばせていただきました。

平成27年の民泊対策プロジェクトチーム立ち上げから、民泊の実態調査、通報・相談窓口の設置、「京都市に

ふさわしい民泊のあり方検討会議」、民泊条例の制定、専任職員体制の強化等々、スピード感ある取り組みに、京都ブランドへの矜持を感じました。

### ◎考察

高山市においても、観光都市として目指すべき将来像の議論、地域ブランドについて関係者の意識共通と体制構築により、「観光まちづくり」の持続可能性をスピード感をもって採り行動に移す必要があると考えます。

**中心市街地活性化事業について**  
(滋賀県守山市)

地方都市にとって中心市街地の活力低下は共通の課題でもあり、

行政の全庁体制に加え住民を巻き込んだ形でのにぎわい創出に一定の成果を上げている守山市の取り組みを視察させていただきました。

### ◎考察

守山市は民間へのアプローチが巧みで、中心市街地活性化基本計画を策定する段階から、まちづくり会社を中心に据え積極的な指導に基づいた基盤構築により活性化を図っており、

経済界に限定しない多様な連携と合意形成こそ活性化の力ぎであると感じました。



行政視察(京都市)

## ・・・分野別市民意見交換会・・・

### 高山管設備工業協同組合

高山市の水道事業を24時間対応で担っていただいている管設備工業協同組合の皆さんと、組合の現状や水道事業のあり方、災害時の対応、技術者の育成など、多岐にわたり意見を交換させていただきました。指定管理者制度の今後の方向性やGISほか新技術



意見交換会の様子

の導入、人材確保なども大事な課題であり、当委員会として今後も連携を図りたいと考えています。